# ぶらり日光 ブランド探訪 vol.2

くわしくは 総合政策課 ブランド戦略室 ☎(21)5131

## 今月の日光ブランドは「霧降高原キスゲ平」

霧降大橋から、チェーンソーアートの道しるべをたどりながら、20分ほど車を走らせると、「霧降高原キスゲ平園地」に到着します。これからの季節(6月中旬～7月中旬)、市の花「ニッコウキスゲ」の開花前線が小丸山の斜面を登っていきます。

「霧降高原キスゲ平」の名前のとおり、ニッコウキスゲのイメージが強いですが、実はそれは魅力の一部に過ぎません。

園地のスタッフの瀬戸静恵(せとしずえ)さんは「雪が解けた後、ゴールデンウイークにはカタクリの群落、そしてアカヤシオやシロヤシオを楽しんでいると、ニッコウキスゲが咲き始めます。黄色のニッコウキスゲが終わる頃、今度はノハナショウブやコバギボウシが斜面を紫色へと変えていきます。その他、多くの草花が9月下旬まで楽しめます。約10haのコンパクトなエリアで、多くの種類の草花が楽しめることが霧降高原の魅力です」と解説します。

開花前と秋にニッコウキスゲの補植を行う他、11月には草刈りを行い、人々が草原に手を加える「半自然草原」を維持することで、多くの草原性植物が鑑賞できるというわけです。

さらなる楽しみ方を瀬戸さんに聞いたところ、「眼下に広がる大パノラマの非日常空間」「1、445段の天空回廊踏破でもらえるカード」「月明かりで登る天空回廊」「夜景の美しさ」「スノーシュー」「毎月19日の天空の日」など話は尽きません。

ぶらりと「霧降高原キスゲ平」を訪れて、あなたの楽しみ方を見つけてみませんか。

# 進め！地域おこし協力隊 2

くわしくは 地域振興課 地域振興係☎(21)5147

今月は、足尾地域で活動する地域おこし協力隊員を紹介します！

足尾地域の地域おこし協力隊は平成23年10月～平成25年3月まで1期生2名が活動を行い、アートによる地域活性化事業を展開しました。空き家などを利用して作品の展示を行うだけでなく、市外から作品制作のために訪れたアーティストが一定期間滞在し、地域の方と触れ合ったり、地域のお祭りなどの行事にも積極的に関わりを持つ「アーティスト・イン・コミュニティ」を推進しました。

滞在中のアーティストを中心に子どもたちの居場所づくり事業も開始し、多くの子どもたちが真剣に足尾地域の未来を考えるきっかけとなりました。1期生1名が任期終了後も定住し、現在も足尾の地域活性化に携わっています。

現在、足尾地域で活動を行っている地域おこし協力隊2名は、2期生となり、平成25年4月から活動を始めました。個性豊かな2名ですので、これからの活動にぜひご支援・ご協力をお願いします。

志村春海(しむらはるみ)隊員
(茨城県守谷市から転入)

足尾に残る古い資料や、住んでいる方の思い出話や記憶に驚かされてばかり。その内容を少しでも紹介していきたいです！

中山京(なかやまけい)隊員
(千葉県我孫子市から転入)

足尾の生活も2年目となりました。今年度は、地域の皆さんとの交流を通して見聞きした足尾の素晴らしさをどんどん発信できるよう、微力ながら尽力していきたいです！



# 小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 日光市山内2388-3 TEL：50-1200
ホームページ http://www.khmoan.jp/

## 市民割引券

(1枚につき、5名様まで有効)

KOSUGI HOAN MUSEUM OF ART, NIKKO

切り取ってご利用ください

## 美術館オリジナルグッズのご紹介

小杉放菴の名前を冠する当館では、放菴の作品を題材としたオリジナルグッズを取りそろえています。その中から、今回は「星のらくがん」をご紹介します。

生涯にわたり酒を愛した放菴は、未(いま)だ酔いから醒めずという意味で「未醒(みせい)」という雅号(がごう)を使用していた時代がありました。当館では、その頃の作品に用いられている、ワインの瓶をデザインした落款(らっかん)の図案をもとに、オリジナルの落雁(らくがん)を作り「星のらくがん」と名付けました。

紅白に彩られた落雁は、華やかで和三盆と栗の二つの風味を楽しむことができます。館内のミュージアムショップでの販売や、喫茶室で抹茶と一緒に味わえますので、展覧会を鑑賞後も、美術館でゆっくりとした時間をお過ごしください。

ミョージョーくん＆リュウさん

喫茶室での抹茶セット

---

**展覧会**：没後50年 所蔵作品による小杉放菴展(後期)
**会　期**：5月31日(土)～7月13日(日)
**休館日**：毎週月曜日(祝日・振替休日のときは開館し、その翌日を休館)
**開館時間**：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
**入館料**：一般…720(300)円、大学生…510(200)円、高校生以下…無料
※(　)内は市民割引券を利用した際の料金です。

# 連載 世界遺産 日光の社寺

教育委員会事務局 文化財課 日光市中央町15-4 ☎(30)1861

### ◆世界遺産とは①

「世界遺産」とはどのようなものなのでしょうか。

「日光の社寺」は文化遺産に分類され、103棟の国宝・重要文化財建造物があります。その境内地は国史跡に指定されているので、格の高い文化財といったイメージがあるかと思います。

**◉世界遺産の数**

4月1日現在、国内で2、412件の重要文化財と218件の国宝建造物、1、724件の史跡、61件の特別史跡が指定されています(重要文化財のうち、特に価値の高いものが国宝に指定されるように、史跡の中で特に価値の高いものが特別史跡に指定されます)。しかし、世界遺産のうち日本の文化遺産は現在13件のみで、登録数が極めて少ないことが分かります。

**◉世界文化遺産の審査**

平成25年度に、新たに1件の国宝と16件の重要文化財、20件の史跡が文部科学省によって指定されました。しかし、毎年行われる文化遺産の審査件数は、各国原則1件とされており、前回(平成25年6月)の世界遺産委員会で新たに文化遺産に登録されたのは、日本の「富士山」を含めた14件でした。

**◉国指定文化財と世界遺産**

「姫路城」は天守閣が国宝建造物、敷地は特別史跡に指定されていますが、「原爆ドーム」は史跡の指定を受けているのは敷地のみで、ドーム本体(旧広島県産業奨励館)は重要文化財などの指定は受けていません。

また、日光の〝杉並木街道〟は東照宮と密接な歴史的関係を持ち、特別史跡と特別天然記念物の国宝級の二重指定を受けているにも関わらず、世界遺産には含められていません。世界遺産とは、極めて厳選され、その選定基準も国内の文化財とは異なるもののようです。

◆　◆

次回からは、世界遺産の歴史や仕組み、登録までの手続きなどを解説し、この疑問にお答えします。